



平成30年度大学図書館職員短期研修

10/4 (京都) ,10/18 (東京)

電子コンテンツ導入・提供の現状と課題

明治大学 学術・社会連携部

図書館総務事務室 西脇 亜由子



電子リソースの特性 冊子体との違い

□ 資料の特性

- ・時間（タイムラグ）と場所（保存スペース）をとらない
- ・アクセス（複数同時・24時間・リモートも）
- ・利用統計の取得

□ 導入手段

- ・物理的購入ではなく、契約によるアクセス権（ライセンス）
- ・管理維持や提供方法

□ 種類

- ・電子ジャーナル
- ・電子書籍
- ・データベース（書誌～フルテキスト）



電子リソースの導入 さまざまな契約

- **論文単位（割高・図書館資産にならない）**
 - ・PPV（機関による前払いトランザクションも含む）

- **個別タイトル単位（定価ベース）**
 - ・P+EやE-only 従来の冊子体購読（P-only）の延長

- **パッケージ単位（Big Deal契約など・割引価格・多様な条件）**
 - ・特定の出版社や学会のタイトルをまとめて契約
 - ・購読誌（Base Price）+ α の支払いで非購読誌にもアクセス可
 α = 構成人員数（FTE）や非購読誌価格など
 - ・価格帯（Tier・Band） 利用量（Usage）やFTEを基に
 - ・購読維持（規模・タイトル）
 - ・アーカイバルアクセス（契約中止後のアクセス権）
 - ・DDP（Deeply Discounted Price）

電子リソースの導入 さまざまな契約



- **アグリゲータ（1タイトルあたりではパッケージより安価）**
 - ・ **複数出版者などのタイトルをまとめて（書籍や文書類を含む場合も）**
 - ・ **エンバーゴやタイトル入替あり，アーカイバルアクセスなし**

- **バックファイル（特定過去年分まとめて買切など）**
 - ・ **メンテナンスフィー（維持費）がかかる場合も**



電子リソースの導入 さまざまな契約

□ 電子書籍

- ・出版社系／アグリゲータ系
- ・個別タイトル単位／パッケージ
- ・買切／購読（アーカイバルアクセスなし）
- ・PDAやDDA, 試読モデル

□ データベース

- ・買切／購読（アーカイバルアクセスなし）
- ・多様な契約モデル

同時アクセス数の条件や検索件数等による従量制も



電子リソースの「契約」

□ さまざまな条件

- ・利用可能範囲
- ・サイトの定義
- ・同時アクセス数
- ・リモートアクセス
- ・Walk-in user
- ・ILL

□ 契約書（Licence Agreement）の重要性



電子リソースの提供方法

- 電子ジャーナル AtoZリスト, リンクリゾルバ

- 電子ブック MARC搭載

- データベース ディスカバリサービス, ナビゲーション
ツール

- 利用者の「発見」をいかに支援するか

- 学内者／学外者向け→契約条件による, 機関でポリ
シー策定が必要



電子リソースにおける課題

□ 価格の上昇

ジャーナル・論文・利用の増加，プラットフォーム拡張，
価格競争の不在，出版社の寡占化 →世界的要因
為替変動，消費税（リバースチャージ） →国内的要因

□ 資料購入費の減少 →冊子体予算への圧迫

□ パッケージ契約

購読規模（タイトル）維持，タイトル移管，離脱の難しさ（タイトル激減・代替手段・データ管理），新モデル？

見直し 利用統計，Cost per Article，アンケートなど

□ コスト負担 予算の分担か共通経費化か 図書館／部局（学部）／外部資金

課題解決へ向けた取組み JUSTICE



□ JUSTICEについて

（目的） 電子ジャーナルなどの電子リソースに係る契約，管理，提供，保存，人材育成等を通じて，我が国の学術情報基盤の整備に貢献

**（設立経緯） JANULコンソーシアムとPULC統合
2011年4月発足**

**（組織）「連携・協力推進会議」のもと、「運営委員会」と「作業部会（交渉・調査・広報）」、「事務局」により運営
会員館 539館（2018年7月現在）**

課題解決へ向けた取組み JUSTICEの活動



- 出版社交渉
- EJバックファイル・電子コレクション拡充 NII-REO
- 電子リソース管理システムの共同利用
- 長期保存とアクセス保証
 - CLOCKSS (Controlled Lots of Copies Keep Stuff Safe)
- 図書館職員の資質向上
 - 『電子資料契約実務必携』刊行, 実務研修
- 広報／調査・情報収集
 - ICOLC (International Coalition of Library Consortia)



電子コンテンツの今後

□ オープンアクセス推進

SCOAP3

OAを含んだ契約（オフセット契約など）、OA2020

論文公表実態調査

グリーンOA

□ コスト負担と研究支援，研究評価



参考文献・URL

- JUSTICE : 大学図書館コンソーシアム連合.
<https://www.nii.ac.jp/content/justice/documents/>
 - 尾城孝一, 市古みどり. オープンアクセスの現在地とその先にあるもの. 大学図書館研究. 2018, no.109, 13p.
 - 小陳左和子, 矢野恵子. ジャーナル購読からオープンアクセス出版への転換に向けて : 欧米の大学および大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) における取り組み. 大学図書館研究. 2018, no.109, 15p.
 - 保坂 睦. はじめての電子ジャーナル管理. 日本図書館協会, 2017, 241p.
 - 大前 富美. 電子ジャーナル購読料の問題とオープンアクセス. RI : Research Integrity Reports. 2017, 2, p. 58-66.
 - 田口 宣行. 医学雑誌の動向～毎年の値上げの理由?～. 日赤図書館雑誌. 2017, 24(1), p. 7-12.
-